

資料

研究成果の発表状況

(1) 誌上発表

<論文(査読あり)>

- 1) 朝倉俊治、増田章二、近藤多美子、堀田昌伸：日本鳥類標識協会誌 23(2): 47-54. 「南アルプス南部におけるライチョウ *Lagopus mutus japonicus* の標識調査」
- 2) 田中健太、平尾 章、鈴木 亮、飯島慈裕、浜田 崇、尾関雅章、廣田 充：地学雑誌, Vol.122(4), 628-637(2013) 「地球温暖化が山岳域と極域の生態系に与える影響—人工温暖化実験によって何がわかってきたか?—」
- 3) M. Hotta, I. Tsuyama, K. Nakao, M. Ozeki, M. Higa, Y. Kominami, T. Matsui and N. Tanaka Modelling future wildlife habitat suitability: Serious climate change impacts on the potential distribution of the Rock ptarmigan *Lagopus muta japonica* in Japan's northern Alps (投稿準備中)

<その他誌上発表(査読なし)>

- 1) 田中博春：長野県環境保全研究所情報誌「みどりのこえ」, 41, 11(2010) 「自己紹介と長野県の地球温暖化「適応策」について」
- 2) 浜田 崇：資源環境対策, Vol47, No.2, 86-91 (2011) 「長野県における地域独自のモニタリング—山岳地における気象観測」
- 3) 浜田 崇、陸 斉：長野県環境保全研究所研究報告, 7, 27-32 (2011) 「市民参加型調査による温暖化モニタリングの実践と課題」
- 4) 尾関雅章、浜田 崇、飯島慈裕：長野県環境保全研究所研究報告, 7, 39-42 (2011) 「中央アルプス千畳敷におけるハイマツの年枝伸長量」
- 5) 陸 斉、田中博春、浜田 崇、畑中健一郎、武田雅宏：第 39 回環境システム研究論文発表会講演集, 315-320 (2011) 「地方自治体(長野県)における適応政策導入の試みと課題」
- 6) 田中博春：長野県環境保全研究所情報誌「みどりのこえ」, 6, 42(2011) 「温暖化の影響をどう予測するか?」, 特集 信州発 みんなで考えよう 地球温暖化!
- 7) 白井信雄、田中 充、小河 誠、陸 斉、濱田 崇、田中博春：土木学会第 20 (2012 年度) 地球環境シンポジウム (2012) 「地方自治体向け気候変動適応策のガイドライン—適応策の検討手順と方法」
- 8) 畑中健一郎：長野県環境保全研究所情報誌「みどりのこえ」, 44 (2012) 「市民参加型温暖化影響モニタリングの Web サイトを開設しました」
- 9) 尾関雅章、堀田昌伸、浜田 崇：長野県環境保全研究所研究報告, 8, 69-73(2012) 「赤石山脈南端部におけるハイマツ群落の分布：高分解能衛星画像を用いた把握」
- 10) 堀田昌伸、中曽根久子、渡辺憲一、植松晃岳、宮澤富幸、松原秀幸、吉田保晴、齋藤 信、齋藤あずさ：長野県環境保全研究所研究報告, 8, 43-47(2012) 「長野県における夏鳥の初認・初鳴き調査 (2011 年)：野鳥関係の 8 市民団体の会員による」
- 11) 田中博春：長野県環境保全研究所情報誌「The 信州エコ・へるす」, 2, 41(2012) 「最近の話題 長野市小学校での気象観測をはじめました」
- 12) 田中博春：長野県環境保全研究所情報誌「みどりのこえ」, 45, 11(2012) 「読書案内『地球温暖化で日本の農業はどう変わる』・『温暖化が進むと「農業」「食料」はどうなるのか?』」
- 13) 陸 斉：社団法人長野県産業環境保全協会 会報サン, 41, 73-75(2013) 「気候変動への適応」
- 14) 大塚孝一・尾関雅章・横井 力：長野県環境保全研究所研究報告 9:47-51(2013) 「長野県上伊那地域における常緑広葉樹シラカシ(ブナ科)の分布」
- 15) 大塚孝一：長野県植物研究会誌 46:89-93(2013) 「長野県におけるベニシダの分布 II—西暦 2000 年から約 10 年後の分布変化—」
- 16) 畑中健一郎、陸 斉：長野県環境科学技術者協議会報, 23, 6-10(2013) 「市民による温暖化モニタリング「信州・温暖化ウォッチャーズ」の課題と対応」

- 17) 田中博春・小林和彦・馬場健司・増富祐司・広田知良：生物と気象, 13, B1-14 (2013)「温暖化フォーラム(石川) 報告「温暖化適応策と農業現場での適応行動」
- 18) 長野県環境保全研究所：「長野県における適応策立案手法開発のための検討報告書」(2012)
- 19) 田中博春：長野県果樹研究会「信州くだものニュース」, 平成26年1月1日号, 3(2014)「変化する気候への適応について」
- 20) 田中博春、浜田 崇：長野県環境保全研究所研究報告, 10, 49-53(2014)「長野県環境保全研究所飯綱庁舎における積雪深連続観測地点近傍の積雪深分布」
- 21) 田中博春、陸 斉：長野県環境保全研究所研究報告, 10, 55-60(2014)「IPCC 第5次評価報告書の気候シナリオに基づいた長野県における年平均気温の変化予測」
- 22) 堀田昌伸、浜田 崇、田中 守：長野県環境保全研究所研究報告 10: 7-11 (2014)「長野市周辺におけるカラ類の産卵日と気象条件」
- 23) 浜田 崇、尾関雅章、飯島滋裕、水野一晴：長野県環境保全研究所研究報告 10: 43-48 (2014)「高山帯風衝斜面におけるオープントップチャンバー内の風速の観測」
- 24) 堀田昌伸・浜田 崇・田中 守 (2014) 長野市周辺におけるカラ類の産卵日と気象条件. 長野県環境保全研究所研究報告 10: 7-11
- 25) 田中博春：長野県環境保全研究所情報誌「みどりのこえ」, 50, 8-9 (2015)「「信州・気候変動モニタリングネットワーク」の設立とキックオフシンポジウムの開催」(発行予定)
- 26) 長野県環境保全研究所：研究プロジェクト成果報告 10 (2015)「長野県における気候変動の実態と影響および適応策検討に関する研究報告書」(発行予定)

(2) 口頭発表(学会等)

- 1) 田中博春・森山真久・菅野洋光：雪氷研究大会(2010)「デジタルカメラとインターネットを利用した積雪深モニタリングシステムの開発」
- 2) 尾関雅章・浜田 崇・飯島慈裕・水野一晴・宮原育子：日本生態学会第58回大会(2011)「木曾駒ヶ岳高山風衝地におけるオープントップチャンバー内の植生変化」
- 3) 富樫 均、浜田 崇：日本雪氷学会北信越支部会(2011)「飯綱火山周辺域の積雪分布の特徴」
- 4) 田中博春、浜田 崇：雪氷研究大会(2011)「デジタルカメラを利用した積雪深測定方法の自動化に関する検討」
- 5) 浜田 崇、田中博春：日本地理学会秋季学術大会(2011)「諏訪湖における結氷日数の経年変化」
- 6) 陸 斉、田中博春、浜田 崇、畑中健一郎、武田雅宏：第39回環境システム委員会研究論文発表会(2011)「地方自治体(長野県)における適応政策導入の試みと課題」
- 7) 田中博春、陸 斉、浜田 崇、畑中健一郎、小澤ゆきえ、武田雅宏：長野県気象研究発表会(2011)「長野県における温暖化適応策導入の取り組み」
- 8) 浜田 崇・田中博春・小澤ゆきえ：長野県気象研究発表会(2011)「小学校を利用した長野市における気温分布観測」
- 9) 朝倉俊治・室伏幸一・増田章二・堀田昌伸 世界南限に生息するライチョウの生息環境と生息状況 第12回ライチョウ会議松本大会(2011年7月, 松本)
- 10) 浜田 崇、富樫 均、横山宏太郎：日本雪氷学会北信越支部大会(2012)「長野県北部飯綱山周辺における2012年の積雪深分布と積雪水量」
- 11) 尾関雅章、大塚孝一、浜田 崇：日本生態学会第59回大会(2012)「木曾山脈固有種ヒメウスユキソウの個体群動態」
- 12) 浜田 崇、尾関雅章、飯島慈裕、水野一晴：日本生態学会第59回大会(2012)「木曾駒ヶ岳風衝地におけるオープントップチャンバー内外の気象要素の比較」
- 13) 金崎健太、浜田 崇、尾関雅章、下野綾子、廣田 充：中部山岳地域環境変動研究機構2012年度年次研究報告会(2012)「温暖化処理による高山植物の葉フェノロジーの変化」
- 14) 尾関雅章、大塚孝一、浜田 崇：日本生態学会第59回大会(2012)「木曾山脈固有種ヒメウスユキソウの個体群動態」
- 15) 田中博春・陸 斉・白井信雄・田中 充：日本気象学会2012年度秋季大会(2012)「水稻の気候変動影響に対する感受性評価とそれに基づく影響関数開発の試行」

- 16) 田中博春・陸 斉・浜田 崇・畑中健一郎・堀田昌伸・小澤ゆきえ・白井信雄・田中 充：日本気象学会 2012 年度秋季大会 (2012) 「長野県における温暖化影響評価とそれに基づく適応策立案の試み」
- 17) 田中博春・陸 斉・浜田 崇・畑中健一郎・堀田昌伸・小澤ゆきえ：長野県気象研究発表会 (2012) 「長野県における温暖化適応策導入の取り組み (第 2 報)」
- 18) Suka, T., Ushimaru, A., Tanaka, H. and Yumoto, T.: 日本生態学会第 59 回全国大会 /EAFES5. Otsu, Japan. (2012) “A post-glacial history of semi-natural grasslands in central Japan and its causation to distributions of grassland species of bumblebees”
- 19) Suka, T., Tanaka, H., Ushimaru, A., Uchida K. and Yumoto, T.: XXIV International Congress of Entomology. Daegu, Korea. (2012) “Historical fires on grasslands in central Japan and its causation to distributions of grassland species of bumblebees and endangered butterflies”
- 20) T. ASAKURA, M. HOTTA, S. MASUDA, M. OZEKI & T. HAMADA Status of the Rock Ptarmigan *Lagopus muta* population in the southern limit of the distribution 12th International Grouse Congress(2012年7月, 松本)
- 21) 木村浩巳・畑中健一郎：環境科学会 2013 年会 (2013) 「地域における伝統の継承・活用と気候変動」
- 22) 畑中健一郎・木村浩巳：システム農学会 2013 年度秋季大会 (2013) 「地域の伝統産業への気候変動影響～長野県諏訪地域の天然寒天の事例～」
- 23) 馬場健司・増原直樹・白井信雄・田中充・松浦正浩・脇岡靖明・田中博春・陸斉・土井美奈子：日本農業気象学会 2013 年全国大会オーガナイズドセッション「温暖化フォーラム」温暖化適応策と農業現場での適応行動 (2013) 「農業分野における気候変動適応策の実装化に向けたアクター間のフレーミングギャップ分析」
- 24) 馬場健司・増原直樹・白井信雄・田中充・松浦正浩・脇岡靖明・田中博春・陸斉・土井美奈子：環境科学会 2013 年会企画セッション「気候変動リスク・脆弱性を克服する地域からの適応社会の実現」(2013) 「適応策の実装化に向けたステークホルダー会議の試み」
- 25) 田中博春：日本気象学会 2013 年度秋季大会 (2013) 「近年の秋季の高温化について -長野県内での検証事例-」
- 26) 富樫 均・浜田 崇：日本雪氷学会北信越支部大会 (2013) 「長野県北部飯綱火山周辺域における積雪深分布パターン」
- 27) 浜田 崇・富樫 均：雪氷研究大会 2013 北見 (2013) 「信越県境付近に位置する飯縄山周辺の積雪深および積雪水量分布の特徴」
- 28) 陸 斉・田中博春・浜田 崇：環境科学会 2013 年会 (2013) 「長野県における適応策実装へ向けた取り組みの成果・課題と対応の方向性」
- 29) 陸 斉・田中博春・浜田 崇・畑中健一郎：日本環境教育学会第 24 回大会 (びわこ) (2013) 「気候変動適応を進めるための課題とそれらへの対応の方向性」
- 30) 陸 斉：日本環境教育学会第 24 回大会 (びわこ) (2013) 自主課題研究「市民科学による生物多様性モニタリング第 2 回 -Citizen Science の新たな可能性と挑戦- ;小堀洋美・小河原孝生・陸 斉 「市民科学が可能にする環境教育とは？」
- 31) 田中博春・陸 斉・浜田 崇・畑中健一郎・小澤ゆきえ：日本農業気象学会 2013 年全国大会オーガナイズドセッション「温暖化フォーラム」温暖化適応策と農業現場での適応行動 (2013) 「長野県における気候変動適応策導入の試み-適応策の政策実装と農業分野の先行的取り組み-」
- 32) 堀田昌伸・津山幾太郎・中尾勝洋・尾関雅章・比嘉基紀・小南裕志・松井哲哉・田中信行 北アルプス中南部におけるライチョウ生息域への温暖化影響の予測と評価 日本鳥学会 2013 年度大会 (2013 年 9 月, 名古屋)
- 33) 朝倉俊治・増田章二・堀田昌伸 南アルプス南部におけるライチョウ *Lagopus muta japonicus* の生息状況 第 14 回ライチョウ会議山梨大会 (2013 年 10 月, アルプス)
- 34) 堀田昌伸・津山幾太郎・中尾勝洋・尾関雅章・比嘉基紀・小南裕志・松井哲哉・田中信行 温暖化によるライチョウ生息域への影響 - その予測と評価 (2013 年 10 月, アルプス)
- 35) 堀田昌伸・津山幾太郎・中尾勝洋・尾関雅章・比嘉基紀・小南裕志・松井哲哉・田中信行 北アルプス中南部に生息するライチョウへの温暖化影響、その予測と評価 第 16 回自然系調査研究機関連絡会議 (2013 年 11 月, 輪島)
- 36) M. Hotta, I. Tsuyama, K. Nakao, M. Ozeki, M. Higa, Y. Kominami, T. Matsui and N. Tanaka Impacts of

Climate Change on the Alpine Habitat of the Rock Ptarmigan in the Hida Mountains, Central Japan 26th International Ornithological Congress (2014年8月, 東京)

- 37) 朝倉俊治・藤井直紀・増田章二・堀田昌伸 南アルプス最南端(上河内岳～イザルガ岳)におけるライチョウの生息状況 第15回ライチョウ会議東京大会(2014年10月, 上野)
- 38) 堀田昌伸・津山幾太郎・中尾勝洋・尾関雅章・比嘉基紀・小南裕志・松井哲哉・田中信行 温暖化による北アルプス中南部のライチョウ生息域への影響評価 2014年度日本生態学会中部地区大会(2014年12月, 長野)
- 39) 田中博春・陸 斉・浜田 崇・畑中健一郎: 日本気象学会中部支部研究会兼長野県気象研究交流会(2013)「長野県における温暖化適応策導入の取り組み(第3報)」
- 40) 田中博春・陸 斉・浜田 崇・中村 勤: 日本農業気象学会2014年全国大会(2014)「長野県における気候変動適応策導入の試み(第2報)―長野県の気温分布変化予測と県内モニタリング体制構築に向けての取り組み―」
- 41) 田中博春・陸斉・増富祐司: 日本気象学会2014年度春季大会(2014)「長野県における年平均気温の変化予測」
- 42) 田中博春・浜田 崇: 日本気象学会2014年度春季大会(2014)「樹林内の広場における林縁近傍の積雪深空間分布」
- 43) 田中博春・浜田 崇・陸 斉・中村勤: 日本地理学会2014年秋季学術大会(2014)「長野県の気候変動適応策導入に向けた動き」
- 44) 畑中健一郎・長谷川曜・田中博春・浜田 崇・陸 斉: 日本気象学会2014年度秋季大会(2014)「温暖化影響に関する市民参加型モニタリングウェブサイト「信州・温暖化ウォッチャーズ」の構築・運用について」
- 45) 畑中健一郎・長谷川曜・浜田 崇・田中博春・陸 斉: 第17回自然系調査研究機関連絡会議 調査研究・活動事例発表会(2014)「市民参加による温暖化影響モニタリング～信州・温暖化ウォッチャーズの取り組み～」
- 46) 浜田 崇・富樫 均: 雪氷研究大会2014八戸(2014)「長野県北部飯綱山周辺における積雪密度と標高・季節の関係」
- 47) M. Hirota, A. Uehara, T. Hamada, M. Ozeki: AOGS Sapporo 2014, 2014, “Depression of net photosynthesis in *Empetrum nigrum* in two decades-long warming experiment caused by modification of not plant itself but abiotic factors inside the OTC on the Japanese Alps”
- 48) 浜田 崇・富樫 均: 日本地理学会春季学術大会(2015)「長野県北部飯綱山周辺の積雪深分布の特徴」
- 49) 田中博春・浜田崇・陸 斉: 日本農業気象学会2015年全国大会(2015)「長野県内の高密度気温観測データとメッシュ気温データの比較検討」(予定)
- 50) 田中博春・浜田 崇・陸 斉: 日本地理学会2015年春季学術大会(2015)「長野市内の百葉箱気温データとメッシュ気温データの比較検討」(予定)
- 51) 田中博春・浜田 崇・陸斉: 日本気象学会2015年度春季大会(2015)「長野県内の気温観測網2件とメッシュ気温データの比較検討」(予定)
- 52) 津山幾太郎・堀田昌伸・中尾勝洋・尾関雅章 温暖化に伴う高山植生の分布変化がライチョウの分布に及ぼす影響を推定する 第62回日本生態学会鹿児島大会(2015年3月, 鹿児島)(予定)

(3) シンポジウム、セミナーの開催(主催のもの)

- 1) 信州・長野県は地球温暖化にどう対応していくのか～地球温暖化研究最前線からの報告(2010年10月20日、ホテルメトロポリタン長野、参加者150名)
- 2) 長野県環境保全研究所公開セミナー「信州発 みんなで考えよう 地球温暖化!」(2011年2月5日、諏訪市文化センター、参加者34名)
- 3) 長野県環境保全研究所公開セミナー「地球温暖化でどうかわる? 信州の生きものと私たちの暮らし」(2012年2月26日、長野県駒ヶ根総合文化センター・小ホール、参加者115名)
- 4) 市民による温暖化モニタリング・キックオフシンポジウム(2013年3月2日、長野市生涯学習センター、参加者60名)
- 5) 気候変動を踏まえた須高地区の農業の未来を考える関係者会議(2013年2月27日、長野県農業試験場、参加者約25名)
- 6) 信州・気候変動モニタリングネットワークキックオフシンポジウム(2014年11月6日)、長野県環境保全研究所飯綱庁舎大会議室、参加者約116名)
- 7) 「長野県における気候変動適応策立案に向けた関係者会議」(2015年3月12日、長野県庁)(予定)

(4) マスコミ等への公表・報道等

- 1) 信濃毎日新聞 (2011年12月23日、朝刊、1頁)「2100年の平均気温予測、県内は3～5℃上昇」
- 2) 信濃毎日新聞 (2011年12月25日、朝刊、1頁)「斜面 2011.12.25」
- 3) 毎日新聞 (2011年1月14日、長野版 21頁)「県が温暖化情報を県民に収集」
- 4) NHK ラジオ「もぎたて信州朝いちばん」(2011年9月27日 7:40～8:00の枠内で5分間ほど、長野県への温暖化影響)
- 5) 信濃毎日新聞 (2012年1月27日、朝刊、30頁)「県内リンゴ温暖化でピンチ 県環境保全研など「生育適地」予測、品種改良や添削「将来の備え必要」
- 6) 長野日報 (2012年2月27日、統合版、1頁)「リンゴ、マツタケ温暖化で"黄信号" 県環境保全研究所が県内生産予測気温上昇見据えた「適応策」を」
- 7) 長野日報 (2012年2月27日、統合版、2頁)「健康被害や自然災害リスク高まる恐れ 県内の温暖化影響予測」
- 8) 長野日報(2012年2月27日、上伊那版、7頁)「中アでハイマツに変化 駒ヶ根で県環境保全研セミナー 温暖化学ぶ」
- 9) FM長野「Think ECO」(2012年2月29日、長野県の温暖化影響予測と適応策研究について10分間ほど紹介)
- 10) 信濃毎日新聞 (2013年1月8日、朝刊、31頁)「最高気温上昇2・9月顕著 県内30年分を月別に分析 農作物への対策必要 県環境保全研」
- 11) 長野日報 (2013年2月26日、1面)「異変応変 気候変動 諏訪の苦悩と備え2 伝統産業の寒天・凍り餅」
- 12) 朝日新聞 (2013年4月17日、夕刊、7頁)「環境 VS 気候異変 適応策[下] 先読みで リンゴ王国守れ 低地で色づき悪化／品種改良で対抗」
- 13) 信濃毎日新聞 (2013年8月23日、朝刊、1頁)「IPCC部会の報告書最新案 県内の平均気温予測 県「現在、研究中」」
- 14) SBC 信越放送テレビ (2013年9月13日、SBC ニュースワイド、長野県における気候変動への取組とリンゴ影響への対策について)
- 15) 信濃毎日新聞 (2013年11月2日、朝刊、1面)「世紀末 北アのライチョウ激減危機 生息域1%以下に縮小も」
- 16) NBS長野朝日放送(2013年12月9日～11日)NBS スーパーニュース枠内「気候変動の現状と予測(12月9日)」、「リンゴへの影響予測 (12月10日)」、「コメへの影響予測 (12月11日)」
- 17) 長野日報 (2013年12月29日、統合版、1頁)「市民参加モニタリング 皆の目と手で温暖化対策」
- 18) 信濃毎日新聞 (2014年1月1日、朝刊、第1社会面)「県内100年で2.0～4.7度暑く 21世紀末予測」
- 19) 信濃毎日新聞 (2014年1月24日、夕刊、7面)「冬季五輪 温暖化でピンチ カナダのチーム研究 今世紀末 長野など開催地激減」
- 20) NHK ラジオ第一 (2014年3月24日)「私も一言! 夕方ニュース」夕方特集「IPCC 総会あす横浜で開会～温暖化への"適応策"とは?」
- 21) 信州くだものニュース (2014年1月1日)「変化する気候への適応について」に増富祐司が協力し作成した図表が掲載
- 22) 信濃毎日新聞 (2014年1月1日)「県内100年で2.0～4.7度暑く」に長野県環境保全研究所の研究協力者として紹介、また増富祐司が協力作成した図表が掲載
- 23) 日経新聞 (2014年4月15日、朝刊)「天候被害から県内守れ 気候変動データ一元管理」
- 24) 南みのわ新聞 (2014年8月22日、3面)「温暖化の影響を確認 県環境保全研究所 伊那市でのセミの抜け殻調査」
- 25) 信濃毎日新聞 (2014年3月18日、朝刊、4面)「地球温暖化影響 地域レベル分析」
- 26) 信濃毎日新聞 (2014年3月18日、朝刊、4面)「県が気候変動監視ネット 来年度発足 情報共有 対策検討へ」
- 27) チャンネル・ユー (長野県松川町ケーブルテレビ) (2014年4月6日～8日、翌週のウィークリーニュース)「長野県や長野県松川町周辺の気候変動影響とそれに基づく気候変動適応策について (松川町認定農業者連絡会にて講演)」
- 28) SBC 信越放送ラジオ (2013年4月8日、「ぐるっと信州! 県民ラジオ」) 市民参加型温暖化影響モニタリングについて紹介
- 29) 松本平タウン情報 (2014年6月26日、14面)「「温暖化」データ基に解説 塩尻で自然科学講座」

- 30) 信濃毎日新聞 (2014年7月23日、朝刊、1面)「県産農産物 温暖化に対抗」
- 31) 信濃毎日新聞 (2014年7月23日、朝刊、6面)「温暖化実感 産地に不安」
- 32) 信濃毎日新聞 (2013年8月23日、朝刊、1面)「気温最大 4.8℃上昇の恐れ I PCC 報告書案今世紀末を予測」
- 33) 読売新聞 (2014年10月5日、朝刊)「温暖化調査 市民が協力」
- 34) 信濃毎日新聞 (2014年11月7日、朝刊、2面)「気候変動データ 県全域で「信州気候変動モニタリングネットワーク」 発足 県・大学など 51 機関 参加」
- 35) 長野日報 (2014年11月7日、朝刊)「信州・気候変動モニタリングネットワーク」 立ち上げ・県
- 36) 環境新聞 (2014年11月19日)「「適応」社会への挑戦 気候変動リスクに備えろ！ 21 地域社会における適応策 (4) 長野県 温暖化防止計画に位置付け 関連産業の創出にも有効」

(5) その他

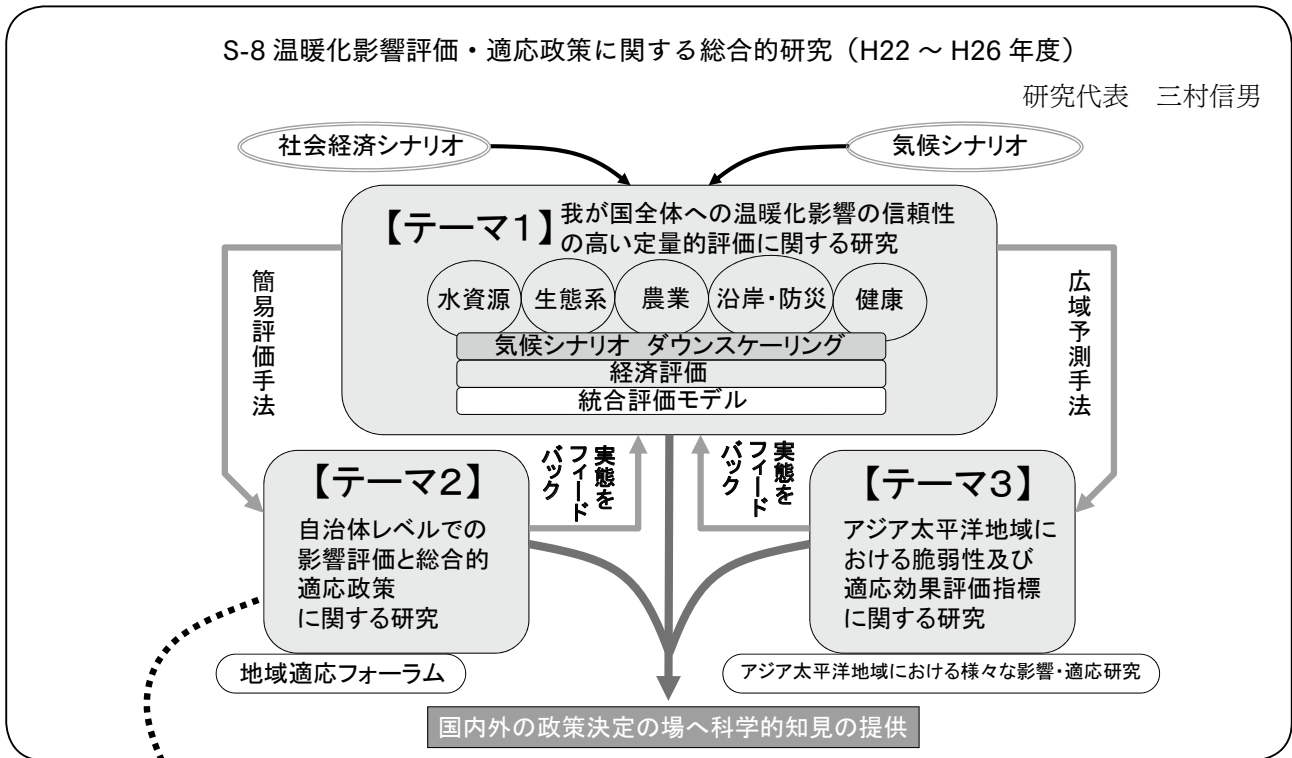
- 1) 田中博春：野菜花き試験場主催「長野県平成 25 年度研究推進会議 野菜花き部会 (夏季)」での講演 (2013年7月23日)「気候変動の現状・予測とレタス等の生育適地変化、早期警戒情報について」
- 2) 田中博春：全農長野主催「JA 生産販売担当常勤役員・部長会議」での講演 (2013年9月2日)「気候変動の現状・予測とレタス等の生育適地変化、早期警戒情報について」
- 3) 農業気象学会「温暖化フォーラム」参加有志 (田中博春他)：長野県の農業分野における温暖化への適応に関する現地視察・意見交換会 (2013年10月7～8日、須坂市ほか、長野県農業試験場、参加者 21 名)
- 4) 田中博春：長野県農業試験場主催「気候変動と農業環境予測に関する研修会」での講演 (2013年10月11日)「気候変動に伴う農業環境変化の将来予測」
- 5) 田中博春：平成 25 年度総合研究試験研究推進会議 (農業気象分野) 第 7 回農業気象研究会「メッシュ農業気象データの栽培管理支援への活用」での講演 (2013年11月13日)「長野県における農作物早期警戒情報導入に向けた試みについて」
- 6) 田中博春：JA 北信州みゆき「JA 北信州みゆき営農部技術員会」講演「地球温暖化の現状と農業分野の将来予測」 (2013年12月4日)
- 7) 陸 斉：九都県市首脳会議地球温暖化対策特別部会 WG での話題提供「適応策に関する国内外の先行事例～長野県における気候変動適応政策立案に向けた取組」 (2013年7月10日)
- 8) 田中博春：長野市役所「長野市エコマネジメントシステム研修会」講演「長野県における温暖化影響評価と適応策について」 (2014年2月25日)
- 9) 田中博春：松川町「松川町認定農業者連絡会」講演「変化する気候への適応について」 (2014年4月3日)
- 10) 田中博春：飯田市公民館「気候変動の影響実感を入口とした気候変動学習プログラムに関する公民館主事学習会」講演「長野県環境保全研究所の取組 - 気候変動の飯田市への影響など -」 (2014年4月24日)
- 11) 田中博春：須坂市「須坂市地球温暖化防止推進協議会」講演「長野県における気候変動影響と適応策について」 (2014年6月4日)
- 12) 田中博春：塩尻市自然博物館「塩尻市自然博物館自然科学講座」講演「地球温暖化の現状と将来予測」 (2014年6月21日)
- 13) 田中博春：飯田市公民館「気候変動の飯田市への影響・地元学ワークショップ」講演「飯田市への気候変動影響事例補足説明」 (2014年7月29日)
- 14) 田中博春：長野市小学校「長野市小学校理科専科学習会」講演「長野市への気候変動影響と気候変動への適応策」 (2014年8月4日)
- 15) 農業気象学会「温暖化フォーラム」参加有志 (田中博春他)：長野県・山梨県のワインブドウ生産者・果樹試験場見学会 (2014年8月27日～28日、須坂市、飯綱町、塩尻市、塩山市、長野県果樹試験場・山梨県果樹試験場、参加者約 11 名)
- 16) 田中博春：「RECCA - S8 - 創生 D 研究交流会」講演「長野県における気候変動適応策導入に向けた取り組みと課題」 (2014年9月5日)
- 17) 陸 斉：地球環境関西フォーラム「第 97 環境政略部会」講演「長野県における気候変動適応策検討の具体的方法論とその成果等」 (2014年9月12日)

- 18) 田中博春：松川町役場大会議室「松川町認定農業者連絡会講演会・座談会」講演「松川町の気候変動と農業影響、適応策について」（2014年10月30日）
- 19) 陸 斉：エコプロダクツ展併設セミナー「地域における気候変動適応策への挑戦～成果報告」講演「長野県における気候変動の影響評価及び適応策の推進」（2014年12月11日）
- 20) 畑中健一郎：長野県環境保全研究所「長野県環境保全研究所公開セミナー ちくまの自然は「いま」」講演「市民参加調査「信州・温暖化ウォッチャーズ」」（2014年12月14日）
- 21) 田中博春：地球環境情報統融合プログラムデータ統合・解析システム DIAS「第2回 DIAS 利用ワークショップ—防災・減災と持続可能な開発への DIAS の貢献—」講演「長野県独自の気候変動監視体制と適応促進の場の構築に向けた取り組み」（2月25日開催）（予定）

S-8 温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究 (研究代表者 茨城大学 三村 信男)
 テーマ構成 (平成 22 年)

課題分類	課 題	実施研究機関
(I 期 H22 ~ 24) (II 期 H25 ~ 26)	<p>1 我が国全体への温暖化影響の信頼性の高い定量的評価に関する研究 (テーマリーダー 国立環境研究所 脇岡靖明)</p> <p>(1) 統合評価モデルによる温暖化影響評価・適応政策に関する研究 ①温暖化影響評価・適応政策支援のための統合評価モデルの開発 ②温暖化影響評価・適応政策支援のための気候シナリオ・社会経済シナリオの開発に関する研究</p> <p>(2) 温暖化ダウンスケーラの開発とその実用化 ①ユーザー支援システムの開発 ②温暖化評価手法の開発とガイドラインの作成 ③影響評価研究者および政策担当者との連携とダウンスケーラの有用性の評価</p> <p>(3) 気候変動による水資源への影響評価と適応策に関する研究 ①水循環評価 ②水源における水質影響評価 ③小規模水供給システムへの影響評価 ④大都市における水道への影響評価に関する研究 ⑤影響評価のためのトップダウン型モデルの開発</p> <p>(4) 沿岸・防災リスクの推定と全国リスクマップ開発 ①全国の洪水氾濫リスクの推定とリスクマップの開発 ②全国の土砂災害リスクの推定とリスクマップの開発 ③全国の高潮災害リスクの推定とリスクマップの開発 ④全国の沿岸侵食リスクの推定とリスクマップの開発 ⑤地域特性に応じた災害解析と適応策オプションの提案 ⑥全国の豪雨災害リスク評価支援データの開発とその解析</p> <p>(5) 地球温暖化が日本を含む東アジアの自然植生に及ぼす影響の定量的評価</p> <p>(6) 農業・食料生産における温暖化影響と適応策の広域評価 ①わが国における温暖化のコメ等穀物生産への影響と適応策 ②温暖化によるわが国の果樹生産適地移動の幅と適応技術の評価</p> <p>③不確実性を考慮した農業影響および適応策の評価</p> <p>(7) 温暖化の健康影響-評価法の精緻化と対応策の構築- ①温暖化死亡影響モデルの精緻化・簡易化 ②熱波警報システムの構築及びその有効性と経済性の評価</p> <p>(8) 媒介生物を介した感染症を及ぼす温暖化影響評価と適応政策に関する研究</p> <p>(9) 温暖化適応政策による地域別・部門別の受益と負担の構造に関する研究 ①温暖化被害評価の精緻化 ②温暖化被害関数の開発 ③空間的応用一般均衡モデルの開発 ④温暖化適応政策に関する代替案の設定</p>	<p>(独) 国立環境研究所 (独) 国立環境研究所</p> <p>筑波大学 (独) 海洋研究開発機構 北海道大学</p> <p>東京大学生産技術研究所 東北大学 東京大学 国立保健医療科学院 東洋大学</p> <p>東北大学 福島大学 国交省国土技術政策総合研究所 東北大学 静岡大学 東京大学 (独) 森林総合研究所</p> <p>(独) 農業環境技術研究所 (独) 農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所 埼玉県環境科学国際センター</p> <p>筑波大学 筑波大学 国立感染症研究所</p> <p>名城大学 東北文化学園大学 兵庫県立大学 (財) 日本総合研究所</p>
	<p>2 自治体 (都道府県、市町村) レベルでの影響評価と総合的適応政策に関する研究 (テーマリーダー 法政大学 田中充)</p> <p>(1) 地域社会における温暖化影響の総合的評価と適応政策に関する研究 ①地域の温暖化影響及び適応研究に係るデータベース構築とプラットフォーム機能形成に関する研究 ②地域社会 (まちづくり、暮らし等) の温暖化影響に係る総合的評価手法及び適応方策のあり方に関する研究 ③住民参加型の温暖化影響リスク評価・脆弱性評価と適応方策の合意形成に関する研究 ④関東・中部地域における地球温暖化の影響評価と適応方策に関する研究 1) 5 都県における温暖化適応策検討のためのモニタリング及び影響評価と地域環境教育プログラム開発 2) 埼玉県における温暖化の農業等に与える影響把握手法の開発と評価に関する研究 3) 東京における温暖化とゲリラ豪雨等局地的極端現象との関係解析に関する研究 4) 神奈川県における温暖化影響観測指標の設定等に関する研究 5) 長野県における温暖化影響評価及び適応策立案手法の開発に関する研究</p> <p>(2) 亜熱帯化先進地九州における水・土砂災害適応策の研究</p>	<p>法政大学</p> <p>法政大学</p> <p>(財) 電力中央研究所</p> <p>東京農工大学</p> <p>埼玉県環境科学国際センター 東京都環境科学研究所 神奈川県環境科学センター 長野県環境保全研究所 九州大学</p>
	<p>3 アジア太平洋地域における脆弱性及び適応効果評価指標に関する研究 (テーマリーダー 茨城大学 安原一哉)</p> <p>(1) 脆弱性・影響・適応策評価の開発・実施のための国際ネットワーク形成に関する研究 (2) 影響予測・適応政策の国際比較 (3) 脆弱性・影響・適応効果指標の開発とメコンデルタでのケーススタディ (4) 適応効果指標及びウインウイン適応オプションの同定のための政策決定枠組みの構築 (5) 気候・生態系変動適応研究大学ネットワーク</p>	<p>茨城大学 (独) 国立環境研究所 茨城大学</p> <p>(財) 地球環境戦略研究機関 国際連合大学</p>

「S - 8 温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究」のテーマ間関係と「長野県における温暖化影響評価及び適応策立案手法の開発」の位置づけ



【テーマ2】自治体（都道府県、市町村）レベルでの影響評価と総合的適応政策に関する研究

（テーマリーダー 法政大学 田中 充）

(1) 地域社会における温暖化影響の総合的評価と適応政策に関する研究

- ①地域の温暖化影響及び適応研究に係るデータベース構築とプラットフォーム機能形成
- ②地域社会（まちづくり、暮らし等）の温暖化影響に係る総合的評価手法及び適応方策のあり方
- ③住民参加型の温暖化影響リスク評価・脆弱性評価と適応方策の合意形成
- ④ 関東・中部地域における地球温暖化の影響評価と適応方策に関する研究
 - 1) 5都県での温暖化適応策検討とモニタリング及び影響評価と地域環境教育プログラム開発
 - 2) 埼玉県における温暖化の農業等に与える影響把握手法の開発と評価
 - 3) 東京における温暖化とゲリラ豪雨等局地的極端現象との関係解析
 - 4) 神奈川県における温暖化影響観測指標の設定
 - 5) 長野県における温暖化影響評価及び適応策立案手法の開発

(2) 亜熱帯化先進地九州における水・土砂災害適応策の研究

研究参画者（長野県環境保全研究所）：陸 齊・浜田 崇

研究協力者（長野県環境保全研究所）富樫 均・畑中健一郎・田中博春・長谷川曜・堀田昌伸・須賀 丈・北野 聡・大塚孝一・尾関雅章／（法政大学）田中充・白井信雄・馬場健司・木村浩巳／（国立環境研究所）脇岡靖明・小熊宏之／（森林総合研究所）田中信行・津山幾太郎・中尾勝洋／（茨城大学）増富祐司／（筑波大学）日下博幸／（海洋研究開発機構）飯島慈裕／（京都大学）水野一晴／（京都大学霊長類研究所）田中洋之／（神戸大学）丑丸敦史他